

生産技術開発プロジェクト採択テーマ

導入検証ステージ

テーマ名：ドラムドライヤーによるエキス末の製造技術開発

中核企業：オキナワパウダーフーズ株式会社

概要：

<技術開発の必要性>

オキナワパウダーフーズでは、紅芋のエキス末やシークワサー果汁末の製造を行っているが、現在は社外協力工場にてスプレードライ方式で製造しており、生産設備の規模やロット数が大きく少量多品種生産には不向きとなっている。そこで、少量多品種生産が可能なドラムドライ方式での製造を目指すとともに、沖縄独自の素材を厳選し、成分量を担保できる高付加価値商品の開発に取り組みたい。

<技術開発内容>

効率的な乾燥を促すため、農作物の搾汁液に賦形剤を混合し、素材の特性や使用目的に合わせた種類と配合量を検証する。また、有効成分の減少を最小限に抑えながら乾燥させるために必要な各検証項目の最適化を図る。



OKINAWA
POWDER
FOODS



導入検証ステージ

テーマ名：外観不良軽減のための新たな釉薬の開発

中核企業：有限会社育陶園

概要：

<技術開発の必要性>

近年、飲食や施設（ホテル等）内での備品として、沖縄県の伝統工芸品「壺屋焼」の需要が高まっている。

壺屋焼は「染み・貫入」現象が味わいの一つであるが、これらの施設等からは見た目の統一性が求められている。そのため、染み・貫入現象や色ムラ等を抑えるために、「化粧掛け＋透明釉」工程の最適化と新たな釉薬の開発を行うことが急務となっている。

<技術開発内容>

安定した透明釉の配合検証と基準の確立、また、安定した焼成工程を検証することにより生産性の向上を目指す。



ikutouen
TSUBOYA POTTERY



条件

県内に生産拠点を有する製造業（「中核企業」という。）もしくは、中核企業と県内外の企業や大学等の研究機関で構成した生産技術開発共同体。

生産技術開発プロジェクト

- ・ 3%以上の生産性改善が見込める開発内容であること
- ・ 技術課題があり開発要件を有していること
- ・ 中核企業もしくは共同体の中で生産技術開発を行うこと
- ・ 沖縄県工業技術センターとの共同研究において、公開可能な技術や評価方法等の確立が期待できること



株式会社沖縄 T L O

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地（琉球大学産学官連携推進機構内）